



2020年度 鶴川地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2020年11月2日 (月) 19:00~20:30

[場所] 鶴川市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 斎藤 広志

○ 連合会長の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 会長 仲村 清彦

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 鶴川駅南側整備及び北口広場拡張計画の進捗状況について

【都市づくり部】

2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について

【道路部】

3 都市計画道路の整備促進の働きかけについて

【道路部】

4 鶴川地区の小学校周辺及び通学路の安全対策について

【学校教育部】 【道路部】

5 新型コロナウイルス対策について

【保健所】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 浅沼 秀作

2020年度 鶴川地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2020年11月2日(月) 19:00～20:30

[場 所] 鶴川市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一
保健所長 河合 江美
道路部長 神蔵 重徳
都市づくり都市整備担当部長 平本 一徳
学校教育部長 北澤 英明
市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫
鶴川地区町内会・自治会連合会長 ほか31名
事務局 市民部市民協働推進課 5名
市民部鶴川市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

鶴川地区町内会・自治会連合会副会長

- 鶴川地区町内会・自治会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 鶴川駅南側整備及び北口広場拡張計画の進捗状況について

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

- (1) 鶴川駅南側の整備計画進捗状況
- (2) 北口広場拡張計画の進捗状況

【回答】

都市整備担当部長

(1) 鶴川駅南側の整備計画進捗状況について、でございますがまず、鶴川駅南土地区画整理事業につきましては、2020年3月に土地区画整理事業の認可を取得し、現在は仮換地指定に向けた作業を進めています。

今後の予定といたしましては、2021年度から順次仮換地指定を行い、2022年度から土地区画整理事業の工事着手を目指してまいります。

土地区整理事業区域に隣接する西側地区につきましては、土地区画整理事業に合わせた道路整備を行うため、地権者合意を進めております。

また、污水管整備につきましては、鶴見川に架かる大正橋から小田急線の鶴川2号踏切に向かう、町田市道鶴川203号線の区間の一部を実施します。

工事期間といたしましては、2020年10月から2021年6月までの予定となっております。その他の路線につきましては、順次進めていく予定です。

川崎市域からのアクセス道路の整備につきましては、2020年1月に川崎市と事業を円滑に推進するため「町田都市計画事業鶴川駅南土地区画整理事業に伴う鶴川駅南口アクセス道路の整備に関する協定」を締結しました。

現在は、神奈川県警とアクセス道路の安全対策や道路構造等について協議を進めているところでございます。引き続き地元住民の皆様や川崎市、神奈川県警等の関係機関と調整を図り、2024年度からの工事着手を目指してまいります。

(2) 北口交通広場の拡張計画の進捗状況について、でございますが

2019年8月に都市計画の変更・決定を行い、今年中の事業認可取得に向け東京都と調整しているところです。今後は、2021年度に工事着手、2024年度の使用開始を目指してまいります。

また、北口交通広場に関連して、2019年10月から鶴川駅前公園の撤去工事を行い、2020年3月に完了いたしました。

《質疑》なし

2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

(1) 鶴川東交差点から上麻生交差点に至る渋滞解消対策

(2) 金井入口交差点の渋滞解消対策

(3) 鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策

(4) 岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策

【回答】
道路部長

(1) 「鶴川駅東口交差点から上麻生（かみあさお）交差点に至る渋滞解消対策」についてお答えいたします。

まず、東京都側の進捗状況でございますが、鶴川駅東口交差点から川崎市境までの810m区間については「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、東京都が2025年度までに、優先的に整備すべき路線と位置付けられております。現時点では、整備時期については未定と伺っております。

川崎市側の進捗でございますが、川崎市との市境から三井住友銀行柿生支店前までの約430m区間の上麻生Ⅱ期工区については、用地取得を進めており、2020年10月時点の取得率は15％となっております。2019年4月1日時点は8％とのことでした。また、事業認可期間は2026年3月末までとなっております。

(2) 「金井入口交差点の渋滞解消対策」につきましては、金井入口交差点から西側は、(1)と同様に「第四次事業化計画」において、東京都が2025年度までに優先的に整備すべき路線として位置付けられております。現時点では、整備時期については未定と伺っております。

(3) 「鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策」につきましては、東京都において事業中の路線です。今井谷戸交差点から薬師中学校までの740m区間の薬師池Ⅰ期は現在用地取得を進めており、2020年4月1日時点の取得率は47％と伺っております。2019年4月1日時点は43％とのことでした。薬師中学校から新袋橋交差点南側の1,040m区間の薬師池Ⅱ期について、2020年4月1日時点の取得率は28％と伺っております。2019年4月1日時点は9％とのことです。また、事業認可期間は2022年3月末までとなっております。

(4) 「岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策」についてお答えいたします。

川崎都市計画道路3・4・22号真光寺長津田線の岡上駐在所前交差点付近につきましては、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置付けられておらず、整備時期は未定と伺っています。まずは、川崎市の道路整備プログラムに位置付けることが必要であると考えております。

また、議案1でお話いたしましたでしたが、町田市では、鶴川駅南口土地区画整理事業に伴う、岡上駐在所交差点から鶴川駅南口に至るアクセス道路の整備

を予定しており、岡上駐在所前交差点の渋滞解消にも寄与するものであると考えております。現在、川崎市や神奈川県警との協議を進めているところでございます。

(1) 鶴川駅東口、(2) 金井入口及び(3) 鎌倉街道につきましては、東京都南多摩東部建設事務所長に対し6月3日に市長及び木島副市長から、各事業の早期着手や整備促進について要請をするとともに、進捗について随時情報共有を図っております。今後も、施行者である東京都に対して引き続き要請してまいります。

そして、(1) 上麻生と(4) 岡上駐在所につきましては、川崎市に対して2019年10月2日に、町田市と川崎市が定期的開催している、川崎・町田道路連絡調整会議において、都市計画道路の整備推進や交差点の渋滞解消対策の早期実施について働きかけを行いました。川崎市に対しても、引き続き要請を行ってまいります。

《質疑》なし

3 都市計画道路の整備促進の働きかけについて

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

(1) 真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ

(2) 広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ

【回答】

道路部長

(1) 「真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてお答えいたします。

東京都は、町田都市計画道路3・4・23号能ヶ谷真光寺線のうち、真光寺十字路の北側から川崎市に向かう940mの真光寺区間について事業を進めており、この区間全体での用地取得率は93%となっております。この区間の内、真光寺十字路から市道鶴川556号線（ボナペティ）までの区間は既に整備が完了しております。残りの市道鶴川556号線より北側の区間については、現在、用地取得を進めております。

事業中区間から先の、川崎市との市境までの約30mの区間については、第四次事業化計画において、東京都が2025年度までに、優先的に整備すべき路線と位置付けられておりますが、整備時期については未定と伺っております。

また、川崎市側は、市境からセレスモス麻生店前の交差点までの約470mの区間については、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置付けられ、川崎市が2025年度までに事業に着手する路線に位置付けられておりますが、整備時期については未定と伺っております。

(2) 「広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてでございますが、町田都市計画道路3・4・30号大蔵町広袴線と接続する川崎都市計画道路3・4・23号線につきましては、川崎市に確認したところ、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置付けられておらず、整備時期は未定と伺っております。

議題3につきましても、先ほどの議題2と同様に、東京都及び川崎市に対しまして整備促進の要請を行って来てるところでございます。今後も(1)につきましては、東京都と、川崎市に対しまして、(2)につきましては、川崎市に対しまして、引き続き、整備促進の働きかけを行ってまいります。

《質疑》なし

4 鶴川地区の小学校周辺及び通学路の安全対策について

鶴川地区内小学校周辺の横断歩道のペイントが消えている所があります。道路標識が見えなかったり、壊れたりしている所もあります。去年は、鶴川街道と通学路の交差点で死亡事故が発生しました。ガードレールの設置等、地区内の安全対策を要望します。

【回答】

学校教育部長

教育委員会では、学校、PTA、警察、道路管理者等の関係機関と合同で小学校の通学路の安全点検を実施しております。各小学校からの安全対策要望に基づき、各関係機関において優先的に安全対策を実施しております。

2019年度は、鶴川第一小学校、鶴川第四小学校、大蔵小学校、金井小学校、三輪小学校で通学路安全点検を実施しました。具体的な対策としまして、警察による横断歩道、停止線の塗り直し、道路管理者による注意喚起の看板の設置、外側線の塗り直し、道路の補修、街路灯の補修などの対策を実施いたしました。

なお、2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染予防のため、関係機関合同での安全点検は中止となりましたが、鶴川第二小学校、鶴川第三小学校から提出された安全対策要望書については、警察、道路管理者等が現地を確認し、安全対策の検討を行っております。その他にお気づきの箇所

があれば学校又は教育委員会へ連絡をお願いします。

道路部長

「4 鶴川地区の小学校周辺及び通学路の安全対策について」お答えいたします。

小学校周辺の安全対策についてですが、道路部では通学児童に限らず、皆さまの交通事故を防止するために様々な安全対策を行っております。

例えば、見通しの悪い交差点へのカーブミラーの設置や、スピードを出す車両の多い道路に白色の破線（ドットライン）を設けて、視覚的にスピード抑止を促したり、歩道のない道路に白線をひいて、歩行者空間（路側帯）と車両空間を分離したり、通学路についてはこの歩行空間を緑色のカラー舗装を行うこともあります。

また、死亡事故等の重大事故の発生現場では、警察と協議を行いながら、同一事故防止の観点からの安全対策を行っています。

鶴川地区につきましても、これらの安全対策を行っているところでございます。

具体的にご要望の箇所がございましたら、道路部までご相談いただきますよう、お願いいたします。

次に、10月12日にお話をいただいた「区画線及びガードレールの新設・補修に要した費用」についてお答えします。

2018年度についてですが、区画線は、市内全域で11,258千円の予算の内、鶴川地区では3,777千円を執行いたしました。

ガードレールは、市内全域で9,679千円の予算の内、鶴川地区では3,307千円を執行いたしました。

2019年度についてですが、区画線は、市内全域で12,289千円の予算の内、鶴川地区では1,003千円を執行いたしました。

ガードレールは、市内全域で12,410千円の予算の内、鶴川地区での執行はございませんでした。

2020年度につきましても、補修が必要な箇所から順次行っております。

《質疑》なし

5 新型コロナウイルス対策について

感染者数などの発生状況を、地区別に発表できないでしょうか。町田市としての新型コロナウイルス対策方針を教えてください。

【回答】

保健所長

町田市では、東京都と連携して、新型コロナウイルス感染症対策を進めて

おります。

感染者に関する情報についても、東京都が、年代、性別、居住地（区市町村名）、症状・経過といった内容の公表を行っております。町田市においては、都の方針に基づき、居住地の情報は市の単位としており、居住地区など、様々な口コミ情報などと合わせることで、感染者個人が推定できるような情報の公表は、感染者やその家族の人権尊重・個人情報保護の観点から差し控えております。

なお、今回、市内大学の運動部における感染者の発生については、複数の感染者が発生していること、社会的な影響が大きいことなどから、10月24日に公表することといたしました。

通常の公表については、町田市内での感染者の傾向を情報発信する意味で、感染者の年代別、男女別、感染経路、感染者経過を、町田市ホームページで公表しております。

《質疑》

大蔵町町内会

新型コロナの感染状況ですが、新聞によると町田市は今日あたり約330人で、1月2月くらいから集計を始めて延べ人数になっています。今現在、退院した人を除いた感染者の数字は把握しておりますか。もしわかれば簡単に今入院している人、治療している人等差し支えない程度で教えてください。

保健所長

累計の患者数ということで、今新聞の情報をお伝えいただきましたが、市内の感染者については毎日HPを更新しております、その日の感染した人数を随時更新しております。今日までですと336人の方の感染が確認されています。

感染者の経過というところは、HPにもありますが最新の情報、10月29日時点での入院されている方が7名。ホテル療養、宿泊療養されている方が17名。自宅療養をされている方が1名。宿泊療養や入院の調整中の方が12名。その他退院等療養期間が終わった方が288名。お亡くなりになった方が7名という状況でございます。

鶴川3丁目町内会

老人会の方が町田市の感染者数はとても多いと言っております。私がそんなことはないよ。狛江市よりも少ないよと言うと、どうしてですかと言います。人口でいうと狛江市は町田市の5分の1、面積でいうと10分の1以下です。野津田町と小野路町を合わせたくらいの大きさと200人という感染

者がいる。町田市の方がよっぽど少ない。そんなに心配する必要はないと伝えていきます。

特に鶴川は老人が多いので、非常に心配されている方が多いです。新聞などで市別の人数を見ると、町田市は多いと感じてしまいます。それで地区別に感染者を公表できないかという要望が出てきます。そのあたりご理解いただければと思います。

三輪住宅自治会

今のお話を聞く限り、町田市としての新型コロナ対策方針を聞けなかった気がします。具体的な対策方針をもう一度聞かせてください。

保健所長

対策方針といたしましては、町田市では東京都と連携して対策を進めているところでございます。具体的に申し上げますと保健所の方では、感染の疑いがある患者さんや症状がある患者さんがスムーズに検査を受けられるように医師会と連携して、地域外来検査センターを設置してPCR検査を円滑に受けられるように体制を整えております。またその中で、陽性になった方、感染が判明された方については医療機関から感染届という届出を出すことになっております。感染された方がどこで感染したのか、その方がどのような人と接触があったのかということ进行调查いたしまして、調査の結果濃厚接触者に該当する方についてはご連絡をとって検査を受けていただいたり、自宅待機、外出自粛をしていただいたりしております。また、患者さんについては病状等を主治医と確認いたしまして、必要な入院治療を受けていただく、ホテルで療養していただくというようなことを進めております。

また、どのようなことが感染させやすいのか、現在どのくらい感染者が出ているのかということをも市民の方に情報発信し、感染予防策を皆さんにとっていただくようにしていただいているところでございます。

三輪住宅自治会

それは保健所としての意見だと思います。市としては、このようなことをやってはいけないとかあるのですか。そういう要請は東京都と一緒にですか。

保健所長

保健所の視点で申し上げてしまいましたが、市といたしましても新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げまして、市長筆頭に市役所全体で対策に取り組んでおります。例えば、春から夏にかけては様々な市の施設を閉鎖いたしまして皆様にはご不便おかけいたしました。また市の事業を中止、延期するというような方針を対策本部の中で取り決め、確認をしている

ところでは、強制的に施設を閉鎖したり、事業を中止、延期したりすることは少しずつ減らしながら、しかし感染させないためにはどうしたらいいのか、本日の市政懇談会も時間を短縮していただきましたが、長時間大勢が集まる機会をなるべく減らしていただくとか、皆様にマスクを着けていただく、少し距離をとっていただく、換気をしていただくというようなことをお願いしながらどう対策をとったらいいのか、その中でどのように事業を進めることができるのかを各部署がそれぞれ検討しながら事業を行っております。

下三輪町内会（司会）

基本的には東京都と連携をして、町田市では保健所が細かいところを率先して行っているということですね。全体については市長を筆頭に、この4月5月頃はコミュニティセンター含めて使用をやめたなど、感染予防対策を色々行っているということです。

鶴川二丁目町会

感染者の入院先や宿泊ホテルはどこなのかということをお答えいただけるのでしょうか。

保健所長

入院先については公表しておりません。ホテル療養のホテルについては、東京都の方で体制を整えておりまして、市の保健所ではこの方をホテル療養させたいということでリストアップしますと、東京都が宿泊先のホテルを振り分け、調整をしていただいで連絡をいただいております。ホテルがどこにあるかということについては、東京都のHPで公表されているかと思いません。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

まずは保健所長からもお話がありました、新型コロナに関する情報の出し方ですが、その前に感染症という領域というのは保健所の業務ですが、これは警察、消防と同じで広域行政と言い、市町村の単位で行っておりません。町田市と八王子市は市が保健所を運営しております。それ以外の市は全て東京都立南多摩保健所など、東京都の職員が業務を行っております。町田市は市の職員が業務を行っております。

町田市は2011年、平成23年から町田市の保健所が設立されました。それまでは都立の保健所でした。つまり、感染症は町田市に限定されていた

り相模原市に限定されていたりはしないので、広い地域で行う行政です。警察についても、消防についても、保健所についても広域行政です。その場合、東京都が、警察であれば警視庁が、消防であれば東京消防庁がとりまとめます。保健所の場合は福祉保健局が統一的に仕事を行っております。そのため、八王子市とあるいは立川市と町田市のやりかたが違うということはありません。したがって、情報の開示、提供の方法も全部同じです。その中で東京都は、個人的な攻撃や風評に繋がる情報は出しません。人権の問題になります。そういう意味でなかなかどこの地区で感染者が出たのかという情報を出さないことになっています。もう一つ、感染源あるいは、接触した感染場所と、感染者数というものは直接結びつきがありません。川崎市で感染した人が町田市民だと、町田市での感染者にカウントされます。川崎で感染したということがわかって、町田市民であれば町田市でカウントされます。町田市民としてカウントされます。そうすると、町田市の中の誰が感染したのかということ公表しても、感染した場所はその人が住む地区が感染源となるわけではありません。感染者が特定されて石を投げられたり、紙を貼られたりしないようにすることが今の対策の中心です。感染に対して不安になっている人はどうするのかというと、特に高齢者の場合は重症化しやすいので心配していますが、どういう場所で感染しているのか、あるいは実際に感染した場合に病院でどのくらい療養しなければいけないのか、どのくらいであれば退院できるのか、どのくらいの方が実際に入院しているのかということ具体的に、個人の名前を一切出さずに皆様情報に整理しております。1週間単位で今週か来週あたりに数字で出そうとしています。そうすることで、実際に感染した場合にどうなるか数字をもって具体的に日数をお示し、わかるようにしていきます。

新型コロナにつきましては、町田市としての対策方針ではなく、東京都全域で行っております。町田市独自で行っているものはありますが、全く独自で行うものではありません。学校について文部科学省は、学校を休校したらどうですかと提案をしてきましたが、3月には全国一律で学校を休校いたしました。

町田市独自の方針というものはなかなか出しにくいですが、対策は行っております。中小企業に対して15%以上の減収の事業者を対象に補助金を交付しました。5月と7月と2回行いました。合わせて予算が約15億円でした。町田市役所レベルで行えることは方針ではなく対策です。

3月、4月はなぜPCR検査ができないのかというご意見をたくさんいただきました。町田市は、町田市の医師会と保健所が連携して検査センターを作りました。旭町の体育館の地下駐車場にPCRの地域外来検査センターを開設しました。これは多摩地域では町田市が1番目で4月27日から行っております。1日当方で30から40件くらい、行っております。10月から

引っ越しをしまして、森野にある前の医師会の会館で行っています。

医療機関については、内科系4つに2億円の補助金を支払いました。町田市医師会の病院部会からの要請もありまして、補助金を交付しました。新型コロナウイルスの関係で外来にほとんど来なくなってしまいました。そうすると収入がありません。コロナで入院しても薬の投与がありません。そうすると薬の収入もないです。非常に苦しいです。

この先のお話として、経済活性化でプレミアムポイント事業を来月、12月と1月限定で行います。これはPay Payで払うと2割プレミアムポイントが付く事業です。商品券を売るのではなくキャッシュレスで行います。

介護サービス事業者へ2億8千万円、補助金をお支払いしております。

国が行った大きな対策は、一人10万円の特別定額給付金で、予算は432億円でした。

コロナについてはまだまだ心配な状況が続いております。国外、特にヨーロッパの方では感染が拡大している状況です。ワクチンもそう簡単にはできません。なかなか収束しない中で、我々も対策をしておりますが、市民の皆様も感染予防対策をお願いいたします。

鶴川地区については、道路について大きな問題を抱えております。南多摩東部建設事務所は町田市以外も管轄しておりますが、町田市での事業が大半を占めております。それでもなかなか進まないのが現状です。

多摩都市モノレールについては、実際にはなかなか進んでおりません。東京都では昨年度からルート検討委員会を開いておりますが、今年はまだ一度も開かれておりません。この秋に開催されることにはなっておりますが、早めに決めないと都市計画決定にシフトできません。町田市としても東京都の都市整備局をお願いしているルートは、桜台、小山田緑地を通るルートになります。

道路の方は、少しずつ進んでおります。市民病院の前にはもう柱が立っております。今年は東側の橋桁を乗せる事業を行います。来年、再来年になるともう反面桁を乗せて、消防署から市民病院に3分くらいで着くようになります。

公園の話で、薬師池公園のところウェルカムゲートが4月にできました。お客さんもかなり来ております。

野津田公園については、GIONスタジアムのスタンドが来年2月に完成します。外構工事はその後に行います。4月いっぱいにかかると思います。1万5千人のスタンドが2月に完成するというので、工事は順調に進んでおります。

鶴川駅南側の整備については、川崎市にもご協力いただいております。

清掃工場については、あと1年くらいで完成し、来年の9月くらいから収集したごみをテストで燃やします。こちらも順調に進んでおります。

教育委員会は、来年の6月に統廃合の長期計画を出します。子どもの数が減り単学級の学校が将来増えていきます。教育上単学級だと難しい問題が出てくるそうです。

保育園の待機児童が3人増えました。127人が130人です。一番多いのが1歳児。次が0歳、2歳となります。3歳以上はいません。南町田の方面が一番多いです。続いて町田、鶴川です。南の方を重点に整備を進めております。

特別養護老人ホームの入所者の状況です。2009年の数字ですが、申し込みから1年以内に入所した方は45%です。去年の数字では88%です。約9割の人が申し込みから1年以内に入所しております。町田市の場合は市内に施設を作っております。

《質疑》

鶴川2丁目自治会

鶴見川をよく散歩するのですが、河川敷に草や木が茂っておりまして危ないです。南多摩東部建設事務所の雑草刈をしますという看板が張り出されて2、3ヶ月たちましたがまだ手が着けられていません。茂りすぎていて手が回らないのでしょうか。計画的に進んでいるのかが気になります。

市長

東京都が行っている河川の維持管理について、これから雨があまり降らない時期になりますが、今頃が最終段階になると思います。もう少し待っていただければと思います。お話は南多摩東部建設事務所にしっかりお伝えいたします。

三輪住宅自治会

キャッシュレス決済についてですが、先ほど市長がPay Payと特定しておりましたが、Pay Payだけではないですね。

市長

Pay Payだけです。募集の際に1社のみとしておりましたので、Pay Payでの決済のみにプレミアが付きます。使った額の20%、期間中の上限額は2万円になります。

鶴川3丁目町内会

小中学校の統廃合についてですが、市から出ました適正規模・適正配置の基本的な考え方を読みますと、小学区域緩和制度とは違うなど考えられます。町田市としては今後通学区域緩和制度をこのまま続けていくのか。続けてい

かないとも読み取れるのですがそのあたりはどうなのでしょう。

学校教育部長

適正規模・適正配置で6月から7月にかけて保護者の方や町内会・自治会の方に通学区域案というものをお示しいたしました。それをご覧になってのお話かと思いますが、統廃合をするにしても場所についてはこれから検討していく段階です。通学区域の真ん中に全て学校があれば良いのですが、今の検討段階では原則として町区域を分断したような通学区域は考えておりません。その中でどちらの学校を選ぶのかということについて今検討を進めているところでございます。鶴川地区の自治会様からご意見をいただけるということも聞いております。11月中旬から具体的な市内5つの地域の新たな通学区域の検討に入っていきます。通学区域緩和制度についても全体の場所が決まってから継続するのかどうかについて検討してまいります。

○閉会の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長